

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 4年12月9日

事業所名： 発達支援センター 巣立ち  
(児童発達支援)

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。  
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	75%	25%	0%	親子通所のためどうしても多くなってしまう日がある。	94%	0%	0%	3%	3%	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防で密を避ける為、利用人数に制限を設けて実施している。
	2 職員の適切な配置	25%	0%	75%	職員が1人いない中療育を行っているためとても大変である。1日でも早く職員を早く配置していただきたい。	81%	10%	3%	3%	3%	先生が1人退職されてしばらく経つが新しい先生が来る予定はないのか？いつも忙しそうに見える。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	100%	0%	0%		91%	3%	0%	3%	3%	子どもの成長に応じた対応をしている。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	100%	0%	0%		97%	0%	0%	0%	3%	昨年度に引き続き、検温やアルコール消毒、床や棚などのごみの確認を行っている。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	75%	25%	0%	現場の職員のみではなく組織全体で巣立ちのことを理解し業務改善を行わなければ一方通行であり改善されない。	/	/	/	/	/	毎日、朝の打合せで療育内容を確認するとともに、その日のうちに振り返りを行い、次の療育に生かせるようにする。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	0%	25%	75%		/	/	/	/	/	昨年度同様、第三者による外部評価については、実施できていない。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	100%	0%	0%	月に1度オンラインで研修を行っている。	/	/	/	/	/	毎月1回、オンラインを利用した職員研修を実施している。また、愛媛大学の先生による診察の際、職員研修を行った。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	100%	0%	0%		94%	3%	0%	0%	3%	面談の時間をしっかり確保し、保護者からの聞き取りで支援計画を作成している。今後もニーズや課題を達成できるように努めていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	100%	0%	0%		97%	0%	0%	0%	3%	今後も具体的な内容を記載しながら共通理解を図り、支援をする。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	100%	0%	0%		/	/	/	/	/	個別療育、集団療育の必要性を伝え、個に応じた計画の作成に努めている。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答		保護者の方のご意見
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	100%	0%	0%		97%	0%	0%	0%	3%	計画に沿った支援を心掛けている。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	75%	25%	0%	職員でプログラムの確認を毎朝行っている。	/	/	/	/	/	毎朝、全職員で確認しており、その際により良いものとなるよう改善していく。
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	100%	0%	0%	利用する子どもに応じてプログラムを立てるようにしている。固定化が必要な時もある。	80%	10%	0%	7%	3%	毎月歌を替えている所が良いと思う。常に子どもの実態、成長を把握しながら柔軟にプログラムを組み立てている。
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	75%	25%	0%	平日のみの通所である。	/	/	/	/	/	巣立ちの療育は、平日のみ。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	100%	0%	0%		/	/	/	/	/	毎朝、支援内容や役割分担等について確認をする。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	100%	0%	0%	気づいたこと、反省点が次に生かせるよう職員間で話すようにしている。	/	/	/	/	/	支援終了後、振り返りや情報の共有を行い、以後の療育に生かせるようする。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	100%	0%	0%		/	/	/	/	/	当日の子どもの様子等を詳細に記録し、保護者からの確認印をもらっているが、引き続き、継続していく。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	100%	0%	0%		/	/	/	/	/	モニタリングの時間の確保に努める。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	75%	25%	0%		/	/	/	/	/	できる範囲で積極的に参加していきたい。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	75%	25%	0%	特に母親からの聞き取りが多い。相談支援事業所との情報共有を行っている。	/	/	/	/	/	必要に応じて連携しているが、今後も相談支援事業所の相談支援専門員や保健師等とは常に共通理解を図っていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答		保護者の方のご意見
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	75%	25%	0%	必要に応じて行っている。	/	/	/	/	/	/	現状として、保護者からの聞き取りが主になっている。今後、必要に応じて連絡体制を整えていく。
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	50%	50%	0%	必要に応じて情報交換を行っている。	/	/	/	/	/	/	必要に応じて情報共有してきたが、更に効果的な情報共有を図る。
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	75%	25%	0%		/	/	/	/	/	/	子どもや保護者のことを共通理解するためにできる範囲で情報提供を積極的に進める。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	75%	0%	25%		/	/	/	/	/	/	必要に応じて助言をもらっている。
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	0%	0%	100%		44%	13%	3%	30%	10%	保育園に通所している。コロナなので保育園も行事が無く他との交流がないのでできなくても仕方がないと思う。	ほとんど実施できておらず、機会があれば、積極的に参加する。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	0%	25%	75%		/	/	/	/	/	/	現在のところ予定はない。
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	100%	0%	0%		97%	0%	0%	0%	3%		丁寧な説明に努めている。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	100%	0%	0%		94%	3%	0%	0%	3%		児発管が保護者と共通理解を図り、子どもに関わっていけるよう丁寧な説明をする。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	25%	75%	0%		81%	10%	3%	3%	3%	もう少し保護者にペアレント・トレーニングの内容のようなアドバイスがあっても良いと思う。	現状ではペアトレはできていない。保護者に寄り添い、その子に必要な関わりを支援していく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無回答		保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	100%	0%	0%		80%	10%	0%	3%	7%	保護者と話し合いの機会を持ち、積極的に共通理解を図る。	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	75%	25%	0%		84%	10%	0%	3%	3%	些細なことでも話を聞いてくれるだけでモヤモヤが解消されて嬉しい。いつもありがとうございます。朝、療育開始前の時間に話せている。	保護者に寄り添い、気持ちをしっかり受け止めながら親身な対応に心掛ける。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	0%	50%	50%		27%	26%	3%	37%	7%	連携はできていない。コロナ禍であることと自分の仕事の関係で参加はできないので特に不満は無い。	現在、保護者会はない。保護者同士の連携が必要な時は個人情報に配慮しながら支援をする。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	100%	0%	0%		43%	7%	0%	43%	7%	こちらから苦情は無い。周りの方からも聞いたことは無い。	しっかり話を聞き、誠実な対応に努める。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	100%	0%	0%		91%	3%	0%	3%	3%		その子の特性に応じた方法で、分かりやすく伝えていく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	75%	25%	0%	月ごとに行事予定を発行している。	44%	7%	3%	43%	3%		現在、月行事しか発行していない。情報発信の際は、個人情報に配慮しながら発行する。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	100%	0%	0%		90%	3%	0%	7%	0%	個人情報の取り扱いについては、職員間で声掛けしながら気を付けていく。	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	75%	25%	0%		46%	17%	0%	30%	7%	マニュアルは作成しているが、十分周知までには至っていない。今後、周知の工夫を考えていく。	
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	100%	0%	0%		37%	3%	0%	53%	7%	単立ちで避難訓練を実施した。また、毎年保健センター全体で訓練を行っている。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価					評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答		保護者の方のご意見
非常時等の対応（続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	100%	0%	0%		/	/	/	/	/		虐待防止に関する研修会を実施する。また、虐待についての関わり方については、日々職員で話し合う機会を持つようにしている。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	75%	25%	0%		/	/	/	/	/		子どもに対する関わりは、保護者の理解のもと支援をする。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	25%	25%	50%	食事は提供していないが、保護者からの聞き取りにより利用する子どものアレルギーは把握している。	/	/	/	/	/		保護者からの聞き取りをしている。現在、食事を提供する場面はない。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	100%	0%	0%	その都度作成し共有している。	/	/	/	/	/		ヒヤリハットを作成しており、必要に応じて記録を残している。